

News Release

平成 14 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 パイオニア株式会社
代表者名 取締役社長 伊藤 周男
(コード番号 6773)
(東証・大証 市場第1部)
問合せ先 執行役員 岡安 秀喜
経 理 部 長
電 話 (03)3495-9826

平成 15 年 3 月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 14 年 4 月 26 日の決算発表時に公表いたしました平成 15 年 3 月期（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 15 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）

(金額の単位：百万円)

	営業収入	営業利益	税引前利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	720,000	25,000	22,000	11,000
今回修正予想 (B)	720,000	31,000	25,000	12,500
増減額 (B-A)	0	6,000	3,000	1,500
増減率 (%)	0.0	24.0	13.6	13.6
(ご参考) 前期実績(平成 14 年 3 月期)	662,125	21,281	15,343	8,047

(注) 当期より米国財務会計基準審議会の新会計問題審議会より公表された討議事項 01-9 号「販売者により顧客（製品の再販業者を含む）に支払われる対価の会計」を適用しました。この結果、従来販売費及び一般管理費に計上されていた一部の対価を売上高より控除しています。前期の実績につきましても修正再表示しています。これによる営業利益、税引前利益、当期純利益に与える影響はありません。

2. 修正の理由

営業収入につきましては、DVD-ROMドライブや欧州のデジタル放送端末など、当初の計画を下回る見込みの製品もありますが、国内のカーナビゲーションシステムが当初計画を上回る勢いで好調に推移していることに加え、主力製品であるプラズマディスプレイやDVDレコーダーも順調であることから、当初の営業収入予想を達成する見通しです。

利益面につきましては、国内のカーナビゲーションシステムの売上が好調なことからカーエレクトロニクス事業の利益増を見込んでおります。また、プラズマディスプレイ第2生産ラインの生産効率の向上や中国工場における原価低減効果、および全世界ベースでの販売費・管理費のコントロールによる経費削減効果も増益に寄与すると見込んでおります。なお、下半期の為替レートは1米ドル=122円、1ユーロ=120円を想定しております。

注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記載、また、その他の既に確定した事実でない記載は、将来の業績についての見通しに関するものです。これらの見通しは、現在入手可能な情報による当社経営者の判断に基づくものです。実際の業績は、さまざまな重要なリスク要因や不確実な要素により、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もあり、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、当社が見通しを常に見直すとも限りません。リスクや不確実な要素には、(1)当社がかかわる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上、または、資産・負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、主観的で変化しやすい消費者の嗜好などに特徴づけられる競争の激しい市場において、当社が高い評価を得る製品やサービスを継続して設計・開発する能力、(4)当社が事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術開発の点で、当社が競争、発展し、販売戦略を成功させる能力、(6)当社が研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して充当する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)当社と他社との合弁や提携の成功、(9)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限るものではありません。

以 上